

特別活動部会

研究主題 望ましい集団活動を通して、よりよい集団を築こうとする生徒の育成

1 主題について

子どもが集団の中で自己の存在に肯定感をもつとともに、他者の存在も認めながら、よりよい生活を築こうとする目標意識を高めていくためには、学級集団の意義が問われると考える。そこで、どのような学級集団の形成を目指すのか、また、どのような集団活動を取り入れるのが望ましいかという課題を追究するために本主題を設定した。

2 今年度の取組

月 日	実 践 内 容	月 日	実 践 内 容
4月13日	第1回総合研究会 研究主題設定・年間計画作成	11月11日	第2回総合研究会 授業研究会（南中学校）

3 研究内容

(1) 授業研究

- ・期 日 平成23年11月11日（金） ・会 場 南中学校
- ・単元名 1年「13年前の自分と13年後の自分を探り、自分の人生をデザインしてみよう」
- ・授業者 佐藤 由右子

① 授業者から

- ・教科書では「将来の職業→人生」の順番であったが、本時は「人生→職業」の順番で考えさせてみた。
- ・実際に書き出してみることで“あいだ”の期間について、「いかに考えることができていないか」に気付かせたかった。
- ・兄弟の末っ子が多く、放って置かれた感が強い。保護者からのメッセージを読むことで愛情を感じてほしいと思った。
- ・本時の授業を、今後の進路指導に役立てたい。
- ・書く内容が盛りだくさんで、多すぎた。
- ・将来のイメージについては、繰り返し考えさせていきたい。

② 協 議

- ・どのようなことを書いてもらいたかったか？
→将来のために学習を頑張る、職業・夢はまだもてていないので考えるきっかけに、生活習慣が身に付いていないので、当たり前のことができるように、と自分自身を振り返ることができるよと思った。
- ・グループにした時、何を話し合ってもらいたくてグループにしたのか？
→発表し合って共有化することで書けない生徒たちに参考にしてもらおうと思った。

- ・他者の発表の考え，感想を記入するスペースがあればよかった。
- ・便せんに感想を貼って渡すようにしたらよかった。
- ・話し合い後，自分たちから“必要なこと”を出させられるとよかった。
- ・今後の人生を考える手立てがたくさんあった。子どもが楽しみにしているようだった。
- ・書かせる視点を明確にしたい。
- ・小学校で1/2成人式を行っている。協力をお願いし，当時書いた物をもっておいてもらうなど，小学校と連携を図るとよい。



【26歳の自分の理想像
について紹介し合う】

(2) テーマ研究

- ・部会テーマ「望ましい集団活動を通して，よりよい集団を築こうとする生徒の育成」に基づいた各校の実践例を紹介し合った。様々な取り組みを学ぶことができた。

(3) 指導助言（一関 光 指導主事）

- ・保護者へのアンケートは効果的だった。学年報に掲載するなどして，生徒の学びの様子を保護者へ紹介してほしい。
- ・先輩からの手紙を紹介する時に，キーワードを黒板へ貼ったりスクリーンに映したりするなどの工夫があれば，本時の学習の方向付けになった。
- ・授業中盤までほぼ無言で書く活動が続き，生徒にとってつらい時間だったが，深める（グループで発表し合う）場面で生徒はリラックスして本音を話し，多様な人生観に触れることができた。
- ・書く速さの差が出る。書き終えた生徒の活動についても考えたい。
- ・小学校では，生まれてから現在までを振り返る活動をよく行っている。生徒の学習経験を考えると，本時では現在から将来までのプランに焦点化してもよかった。
- ・保護者からのメッセージによって，生徒は将来の自分の姿をより現実的にとらえることができた。保護者の願いが詰まったメッセージなので，大切にさせたい。
- ・評価規準に盛り込むべき事項は，国立教育政策研究所で作成した『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料』を参考にしてほしい。

4 成果と課題

(1) 成果

- ・自己肯定感をもって初めて，他者の存在を認め，よりよい生活を築いていくための問題意識を共有していくことにつながるのではないかと感じた。自己肯定感をもたせることの大切さや難しさを改めて確認することができた。

(2) 課題

- ・進路学習は教育活動全体にかかわるため，関連のある指導や指導の成果の確認を意図的に行うためにも，本題材の事前，事後の活動を指導計画に明記したい。